

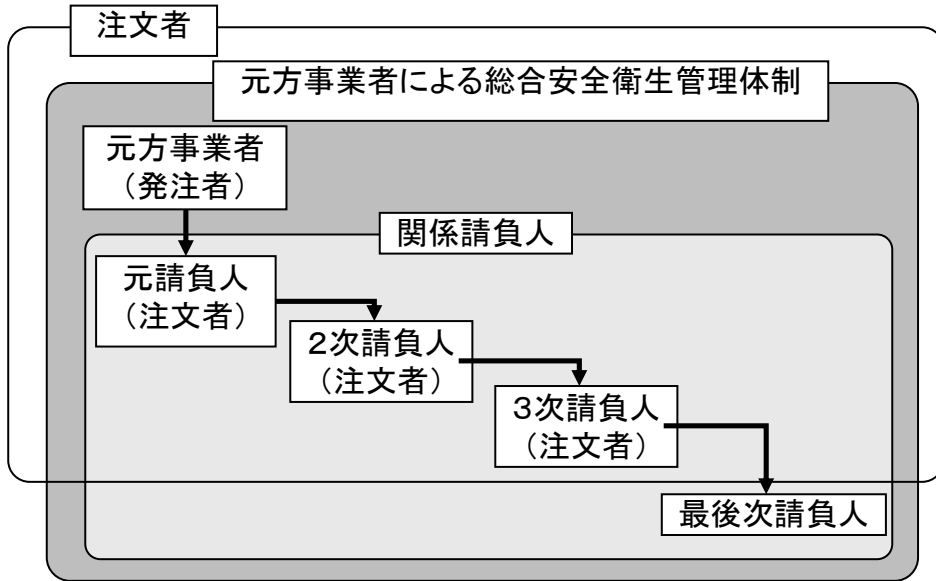
## Ⅲ 資料（様式例）

この章は、本調査研究委員会委員の協力により、鉄鋼各社で非定常作業時に利用している様式例をまとめたものである。

ガイドラインの内容に合わせ、一部を追加、修正している資料もあるが、資料提供していただいた会社で使用している用語や、内容説明に使用している用語は、ガイドラインで用いている用語以外も含まれている。

資料番号	資料名	内容	ページ
1	総合安全衛生管理体制の階層概念図	元方事業者による総合安全衛生管理体制における注文者、発注者、関係請負人の関係を示した図。	54
2	非定常作業の総合安全衛生管理体制例	一の場所における混在作業の連絡調整を確実にを行うために組織する安全衛生管理体制を示した図。	55
3	非定常作業の安全衛生管理体制例	元方事業者の社員のみで作業する場合の安全衛生管理体制を示した図。	56
4	緊急事態発生時の対応フロー例	緊急事態の発生から作業に取り掛かるまでに必要な判断を入れた対応フロー図。	57
5	ライン内外区分表示例	ライン内外区分の表示例（柵、ペンキ塗り）。	58
6	操作禁止札掛け例	工場、保全 / 整備、施工者の3者で実施した札掛けの例。	59
7	条件設定の役割分担例	条件設定基準書、チェックリストの作成役割分担を示した表。	59
8	修理条件設定基準書例 1（①～⑦）	設備管理部門が実施する補修工事等で使用する修理条件設定基準書（本文、付図、チェックリストの7部作）例。	60
9	修理条件設定基準書例 2	設備管理部門が実施する補修工事等で使用する修理条件設定基準書（全情報を1枚に記述）例。	65
10	条件設定チェックリスト例	条件設定を間違いなく実施、確認するために使用するチェックリスト例。	66
11	設備停止位置一覧&ロックピンチェック表例	修理を行うための設備停止条件とロックピンの入出を確認するためのチェック表例。	67
12	立入禁止区域、作業範囲図示例（①、②）	関係請負人へ伝えるための条件設定範囲、設備稼働範囲、危険物、有害物等の情報図示例。	68
13	非定常作業実施中表示例	非定常作業実施中であることを意識するために現場に掲示する表示旗例。	69
14	作業基準書例（①、②）	各部門で実施する作業について作業毎に作成する作業準書（本文、付図、リスク評価表4部作）例。	70
15	一人作業の安全チェックリスト例	一人作業を実施させるときに使用するチェックリスト例。	72

16	特認作業管理表例	条件設定をせずに実施しなければならない作業を管理するための一覧表例。	73
17	動点検作業指示書例	設備を動かしながら行う動点検時の作業指示書例。	74
18	緊急突発作業依頼書兼指示書例	緊急突発時に元方事業者が関係請負人に作業を依頼するときに使用する指示書例。	75
19	補修工事仕様書例	補修工事等で元方事業者が関係請負人に作業を依頼するときに使用する工事仕様書例。	76
20	施工要領書例	補修工事等で元方事業者が関係請負人に作業を依頼するときに使用する工事仕様書例。	77
21	安全衛生対策書兼作業予定表例	元請が二次会社へ作業を依頼する時に作成する作業指示書例。	78
22	施工要領書リスクアセスメント例	元請が作成する施工要領書でリスクアセスメント評価を記述している例。	79
23	危険箇所情報通知例	元方事業者が関係請負人へ危険箇所情報を周知するときに使用する通知書例。	80
24	作業内容変更依頼書例	作業内容が変更になったときに元方事業者が関係請負人に提出する依頼書例。	81
25	変化点安全確認シート例	計画的な工事等で当初計画と異なる状況が発生したときに元請が作成する書類例。	82
26	変化点気付きカード例	作業者に変化点を気付けさせるために携帯させるためのカード例。	83
27	現説確認書例	工事前に元方事業者から関係請負人に実施した現場説明の確認書例。	84
28	工事着工前確認チェックリスト例	工事を開始する前に実施する調整会議で調整する事項の有無を確認するためのチェック用紙例。	85
29	工事着工前打合せ議事録例	工事を開始する前に実施する調整会議の議事録用紙例。	86
30	工場・保全 / 整備・施工者問題点打合せ議事録例	連絡調整会議で出された問題点をまとめた議事録例。	87
31	危険作業 / 臨時火気使用申告書例	関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類例。	88
32	クレーンランウェイガード付近作業許可申請書例	関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類例。	89
33	請負工事着工届例	関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類例。	90
34	仮設事務所設置許可願例	関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類例。	91
35	危険予知 (KY) シート例	作業者が実施する危険予知 (KY) シート例。	92
36	緊急連絡ルート例	元方事業者の安全衛生室・環境防災室への連絡ルート例。	93



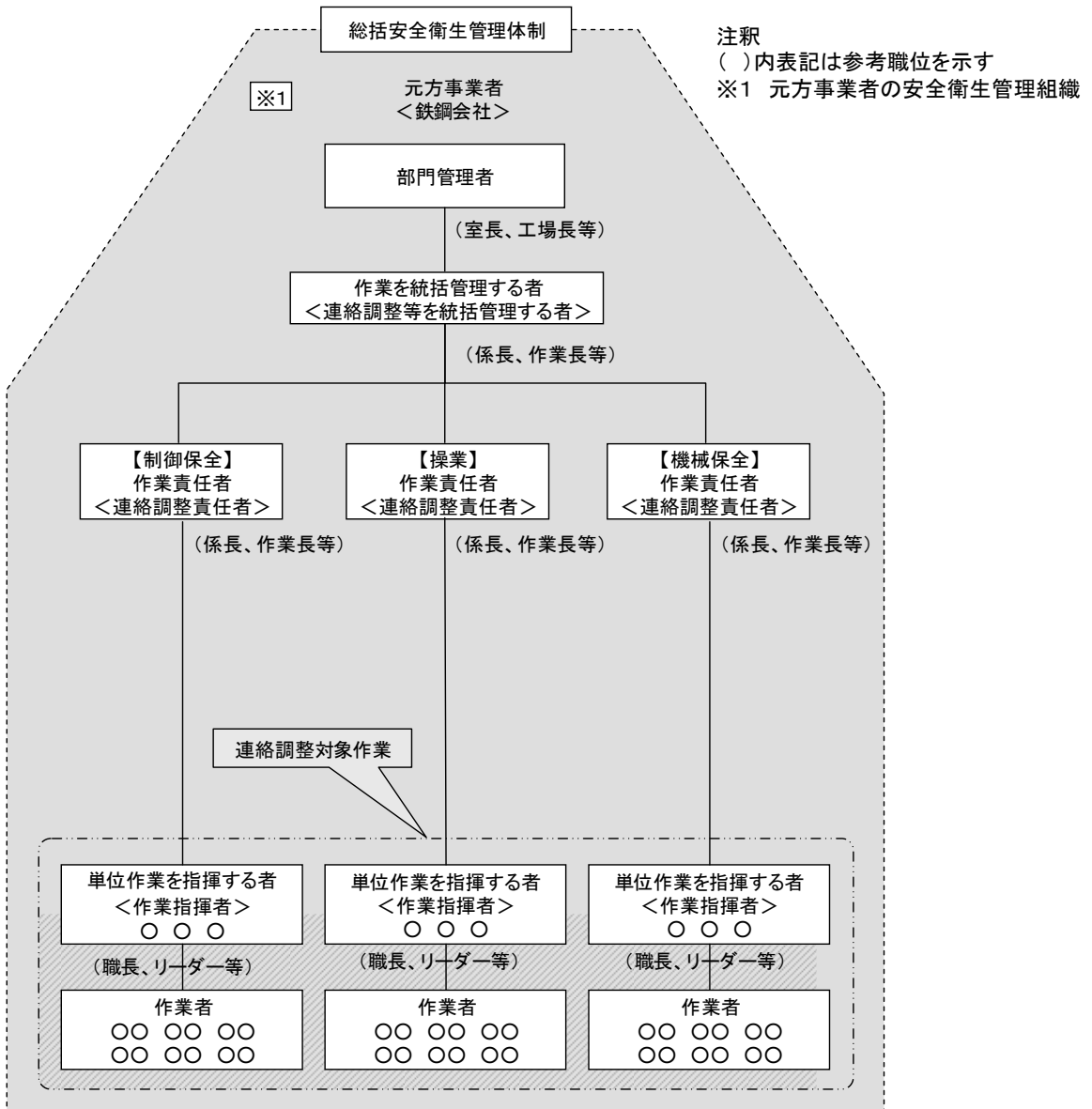
資料 1 総合安全衛生管理体制の階層概念図

元方事業者による総合安全衛生管理体制において、注文者、発注者、関係請負人の関係を示している。各階層間で契約関係を確実に結ぶとともに各階層の役割を確実に実施する必要がある。

本文記載ページ  
13, 23



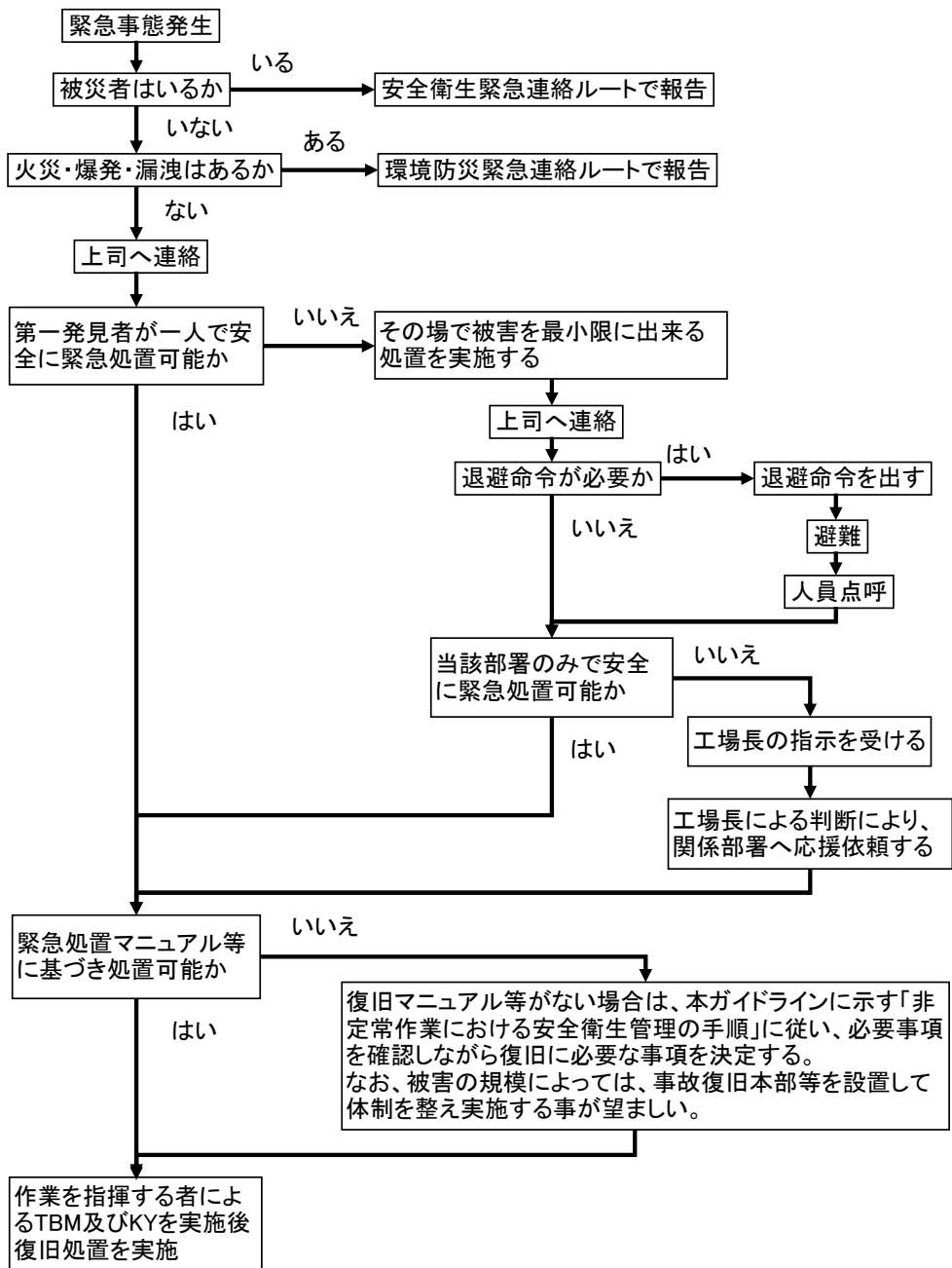
非定常作業の安全衛生管理体制  
 （元方事業者（鉄鋼会社）の社員のみで行う場合）



資料 3 非定常作業の安全衛生管理体制例

元方事業者の社員のみで作業する場合の安全衛生管理体制を示している。  
 関係部署が同時に作業する場合は、作業を統括管理する者を指名し、連絡調整を行う。

本文記載ページ  
 12, 16, 29, 37



資料 4 緊急事態発生時の対応フロー例

緊急事態の発生から非常作業に取り掛かるまでに必要な判断を入れた対応フロー図を示している。

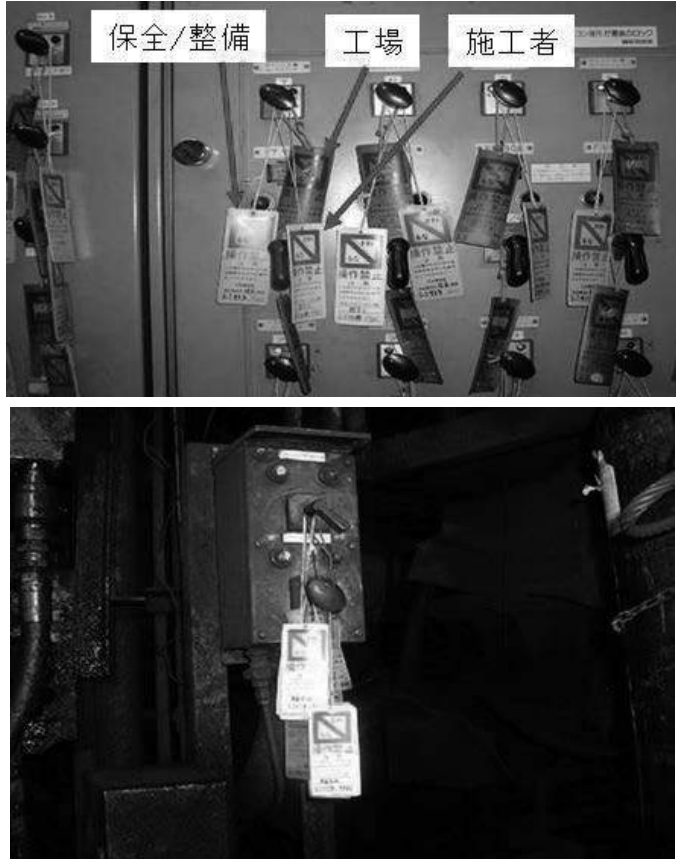
本文記載ページ  
28, 36



資料5 ライン内外区分表示例

手摺、柵、ペンキ等でライン内外区分を表示した例を示す。  
 できる限り強固なもので囲い、入口に危険情報、立ち入る時の条件、安全スイッチ有効範囲、連絡先等を明記したライン内表示板をつけることが望ましい。

本文記載ページ  
 14



資料 6 操作禁止札掛け例

鉄鋼生産設備の修理等で、工場、保全/整備、施工者の3者で実施した札掛けの例。  
元方事業者の社員のみで実施する場合は、立ち入る者が札掛けを実施する。

本文記載ページ  
14, 31, 39, 44

主担当は◎ 確認は○

		条件設定基準書、チェックリスト等の作成			条件設定の実施・確認		
		元方事業者		関係請負人 (施工者)	元方事業者		関係請負人 (施工者)
		操業	保全/整備		操業	保全/整備	
操業管理 業務	元方事業者の社員のみで実施する作業	◎	/	/	◎	/	/
	元方+関係請負人で実施する作業	◎	/	/	◎	/	○
設備管理 業務	元方事業者の社員のみで実施する作業	/	◎	/	○	◎	/
	元方+関係請負人で実施する作業	/	◎	/	○	◎	○

資料 7 条件設定の役割分担例

元方事業者、関係請負人のそれぞれについて条件設定基準書、チェックリストの作成、条件設定の実施・確認の役割分担例を示す。

本文記載ページ  
19



修理条件設定作業基準書

Header information including No. (1/2), room details, and dates (2014年 3月 7日).

Approval and revision information including signature lines and dates.

Approval and revision information including signature lines and dates.

Main table with columns for No, Item, Description, Point, Responsibility, and Operation/Prohibition. Includes rows for equipment installation, power source checks, and maintenance tasks.

資料 8 修理条件設定基準書例 1-1

記号(分担) 工場 機械 制御 施工 記号(礼拝) 礼拝ける場所に

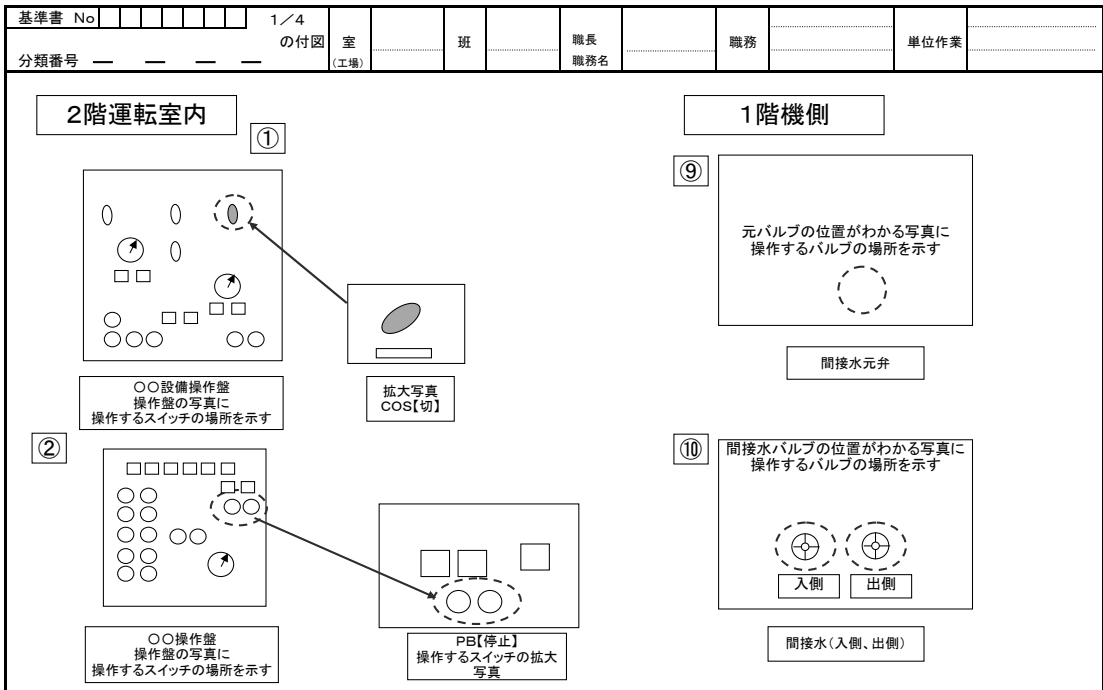
設備の補修、ライン内立ち入り作業等で、条件設定する手順、札掛け場所、分担等を記述し、条件設定箇所をよりわかりやすくするために、写真、図面、回路図等を添付して現物との照合ができるようビジュアル化してわかりやすく示している。

本文記載ページ 14, 19, 36, 42, 47

**修理条件設定作業基準書**

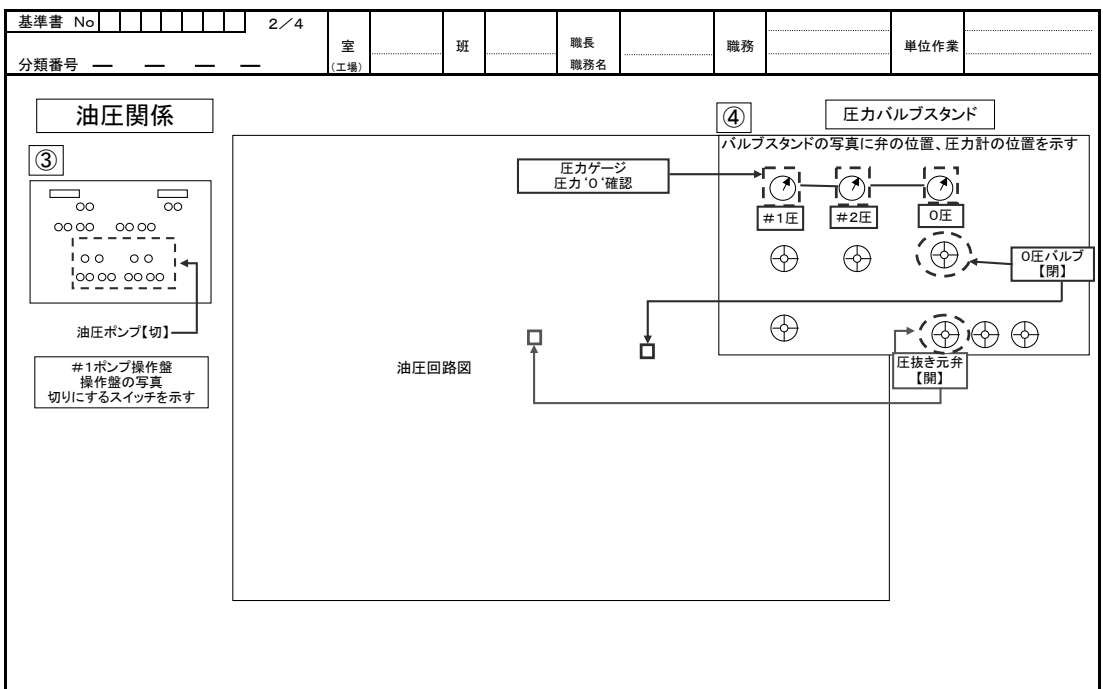
手順 No	項目	指差 記号	要 点	分 担			操作禁止札を掛ける場所													
				操作	連絡	確認	札掲立会	電気室	運転室	機関	弁類	その他	メカロック							
2-5) 1階機側		指	〇〇給脂装置【NFB】	●	▲	●	▲	●	▲	○										
		指	〇〇給脂装置【NFB】	●	▲	●	▲	●	▲	○										
		指	間接水元弁【弁】	●	▲	●	▲	●	▲			○								
		指	間接水(〇〇入側)【弁】	●	▲	●	▲	●	▲			○								
		指	間接水(〇〇出側)【弁】	●	▲	●	▲	●	▲			○								
3	電気室関係																			
	〇〇電気盤	指	〇〇設備【主電源】	■	▲	■	▲	■	▲	○										
		指	〇〇設備【操作電源】	■	▲	■	▲	■	▲	○										
		指	〇〇設備【主電源】	■	▲	■	▲	■	▲	○										
		指	〇〇設備【操作電源】	■	▲	■	▲	■	▲	○										
4	条件解除	指	条件設定時のリストに基づき、解除済れの無い事。																	
◎ 記入上の留意点																				
(1)原則として項目毎に1行あける			(3)管理者の検印は、作成時と訂正時とする																	
(2)2枚目以降は'様式-(2)'を使用する			(4)改定のない見直しは、右側の見直し欄に職長印																	
			(5)操作禁止札を掛ける場所は ○ 印でマークする																	
			資料 8 修理条件設定基準書例 1-②																	
			(6)条件設定箇所は平面図等でわかり易くする																	

作業基準書・修理条件設定基準書 付図



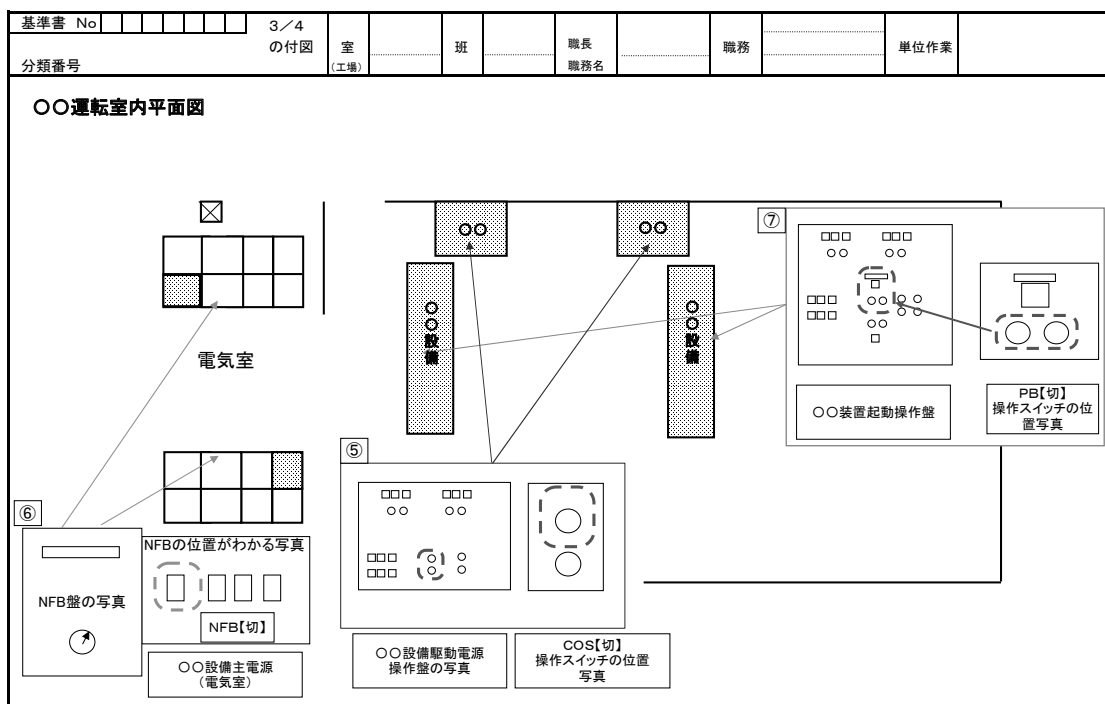
資料 8 修理条件設定基準書例 1-③

作業基準書・修理条件設定基準書 付図



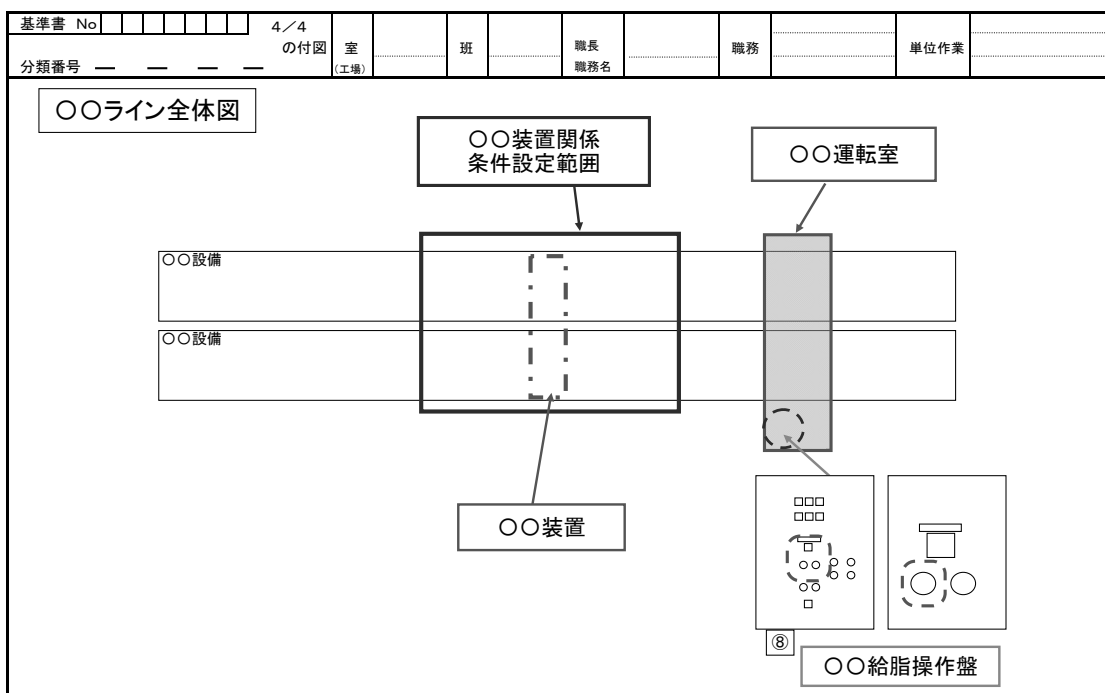
資料 8 修理条件設定基準書例 1-④

**作業基準書・修理条件設定基準書 付図**



資料 8 修理条件設定基準書例 1-⑤

**作業基準書・修理条件設定基準書 付図**



資料 8 修理条件設定基準書例 1-⑥

室長	統括	作業長	職長

### 〇〇装置関係補修工事条件設定リスト

施工日: 年 月 日 基準書 No. 〇〇〇〇

#### 運転部署・保全条件設定箇所

【電気室】				【運転室】				【機側廻り】			
No	条件設定箇所名称	設定	解除	No	条件設定箇所名称	設定	解除	No	条件設定箇所名称	設定	解除
1	〇〇設備【主電源】			5	〇〇設備電源【COS】			10	#1ポンプ【PB】		
2	〇〇設備【操作電源】			6	〇〇操作盤【PB】			11	#2ポンプ【PB】		
3	〇〇設備【主電源】			7	〇〇設備駆動電源【COS】			12	#3ポンプ【PB】		
4	〇〇設備【操作電源】			8	〇〇設備主電源【NFB】			13	〇〇給脂装置【NFB】		
				9	〇〇装置起動【PB】			14	〇〇給脂装置【NFB】		
								15	間接水元弁【弁】		
								16	間接水(〇〇入側)【弁】		
								17	間接水(〇〇出側)【弁】		
								18	〇〇油圧ACC圧抜き 開【弁】		
								19	〇〇圧バルブ 閉【入側弁】		

札掛け実施確認

運転部署	制御	機械	施工者

#### 施工者条件設定箇所

No	工事名称	会社名	適応札掛けNo																	
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				

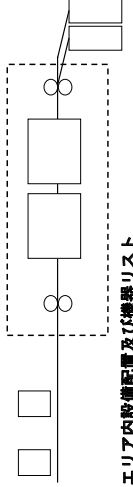
# 〇〇設備 条件設定基準書

## 1. 条件設定リスト

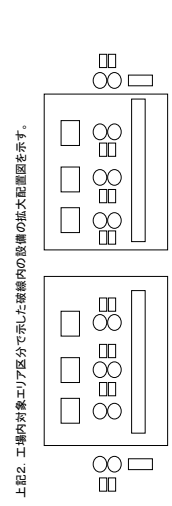
手続	項目	内容	別紙施工条件確認書に依り								礼拝場所								
			OP	F27f	設備	F27g	制御	F27h	設備	F27i	設備	F27j	設備	検査	維持				
1	機組立・修理	〇〇工場 〇〇設備 AAA																	
2	安全点検	別紙施工条件(制御停止条件)に依り																	
3	電気室	〇〇設備																	
		〇〇設備																	
		〇〇設備																	
		〇〇設備																	
4	操作盤	漏圧弁パイプ																	
		〇〇設備																	
		〇〇設備																	
		〇〇設備																	
5	流体力学	Ms101圧																	
		Ms201圧																	
		Ms301圧																	
		Ms401圧																	
6	その他	入機計																	
		出機計																	
		重量弁パイプ																	
		エア-元バルブ																	

〇〇工場		〇〇制御室		〇〇制御室	
班長	班員	班長	班員	班長	班員

## 2. 工場内 対象エリア区分



## 3. エリア内設備配置及び機器リスト



上記2. 工場内対象エリア区分で示した設備内の設備の拡大配線図を示す。

条件設定項目	
① ライン内(作業対象の設備内)へ立ち入るために必要な安全措置(作業内容に依りず、毎回同一手順で実施)	
② 設備停止	
③ 漏圧弁パイプの停止	
④ Ms101, Ms201, Ms301, Ms401の停止	
⑤ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑥ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑦ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑧ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑨ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑩ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑪ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑫ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑬ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑭ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑮ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑯ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑰ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	
⑱ 特定化学物質(揮発)漏洩防止装置の停止	

## 資料9 修理条件設定基準書例2

設備の補修、ライン内立ち入り作業等で、条件設定する手順、札掛け場所、分担等を記述し、条件設定範囲を含まない1枚にまとめた例。条件設定箇所をよりわかりやすくするために、写真、図面、回路図等をビジュアル化したもの。本文記載ページ 14, 19, 36, 42, 47

〇〇設備 条件設定チェックリスト 〇年 〇月 〇日 定期修理  
 条件設定基準書No.

室長	作業長	職長	担当

運転部署、保全部署条件設定箇所

運転室		電気室	
No.	条件設定箇所名称	状態	設定
1		停止	
2		停止	
3		停止	
4		停止	
5		停止	
6		停止	
7		停止	
8		停止	
9		停止	
10		停止	
11		停止	
12		停止	
13		停止	
14		停止	
15		停止	
16		停止	
17		停止	
18		停止	
19		閉	
20		閉	
21		停止	
22		停止	
23		閉	
24		閉	

施工者条件設定箇所

No.	工事名称	会社名	札掛け番号
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			

運転室札掛け実施確認 電気室札掛け実施確認

運転部署	保全部署
制御	機械

資料 10 条件設定チェックリスト例

ライン内立ち入りに必要な条件設定箇所を一覧に記したものを作成し、チェックリストで確認しながら条件設定を実施する。関係請負人は、元方事業者が実施した条件設定の内容を確認し、作業に必要な条件設定箇所札掛けを実施し、確認しサインする仕組みづくりが必要。

本文記載ページ  
19, 31, 32, 39, 40, 43, 45

〇〇設備停止位置一覧表&ロックピンチェック表

作業長	職長	担当

〇〇年〇月〇日  
定期修理

〇年〇月〇日作成  
〇年〇月〇日見直し

〇年〇月〇日見直し

設備名	停止位置	条件	チェック	設備名	停止位置	条件	チェック
#1カバー	開 閉	ロックピン	レ	#3カバー	開 閉	ロックピン	レ
#2カバー	開 閉	ロックピン	レ	#4カバー	開 閉	ロックピン	レ
#1〇〇設備	オフライン			#4〇〇設備	オフライン	ロックピン	レ
#2〇〇設備	開度( )			#5〇〇設備	開度( )		
#3〇〇設備	下死点	ナイフ抜き		#6〇〇設備	下死点	ナイフ抜き	
フード	開 閉	ロックピン	レ	フード	開 閉	ロックピン	レ
フード	開 閉	ロックピン	レ	フード	開 閉	ロックピン	レ
ガイド	入 出	ロックピン	レ	ガイド	入 出	ロックピン	レ
ガイド	入 出	ロックピン		ガイド	入 出	ロックピン	レ
ガイド	入 出	ロックピン		ガイド	入 出	ロックピン	レ
ガイド	入 出	ロックピン	レ	ガイド	入 出	ロックピン	レ
〇〇ロール	上限 下限	ロックピン	レ	〇〇ロール	上限 下限	ロックピン	レ
〇〇ロール	上限 下限	ロックピン	レ	〇〇ロール	上限 下限	ロックピン	レ
〇〇ロール	上限 下限	ロックピン	レ	〇〇ロール	上限 下限	ロックピン	レ
〇〇ロール	有 無	ロックピン	レ	〇〇ロール	有 無	ロックピン	
〇〇ロール	有 無	ロックピン	レ	〇〇ロール	有 無	ロックピン	
〇〇ロール	有 無	ロックピン	レ	〇〇ロール	有 無	ロックピン	レ
〇〇ロール	有 無	ロックピン	レ	〇〇ロール	有 無	ロックピン	レ
〇〇設備	後退 前進	ロックピン	レ	〇〇設備	後退 前進	ロックピン	レ
〇〇設備	後退 前進	ロックピン	レ	〇〇設備	後退 前進	ロックピン	レ
〇〇設備	後退 前進	ロックピン	レ	〇〇設備	後退 前進	ロックピン	レ

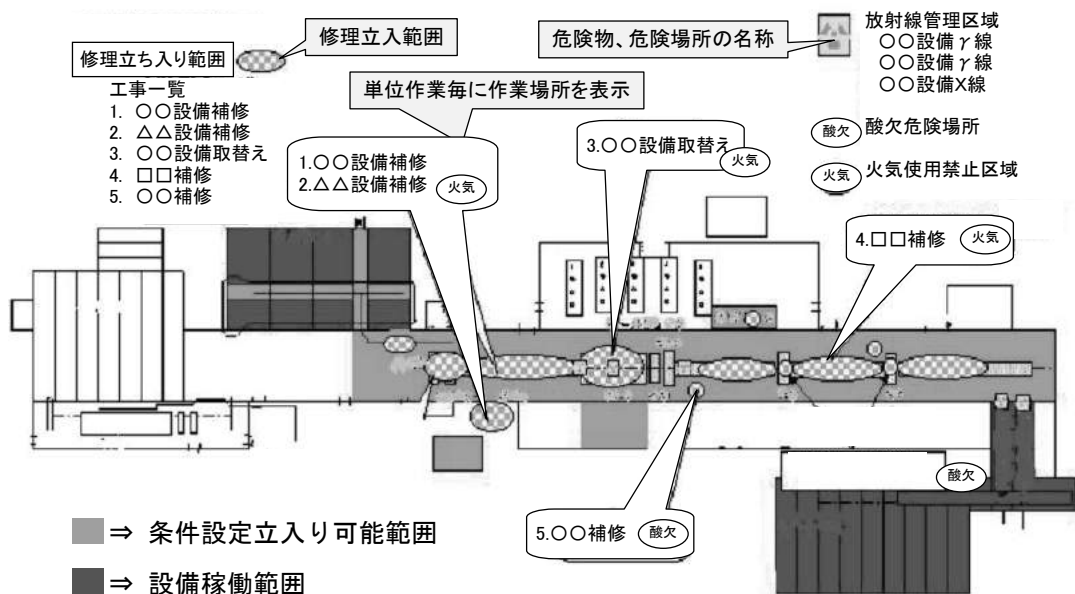
資料 11 設備停止位置一覧&ロックピンチェック表例

設備の補修、ライン内立ち入り作業等で、作業上必要な機械位置、条件設定後の自重落下防止、偏芯機構の固定等を目的に、機械の停止位置、ロックピンの要否を記述した一覧表を作成し、事前に操業管理部門へ通知しておく必要がある。設備立ち下げ後、チェックリストで確認する。

本文記載ページ  
42



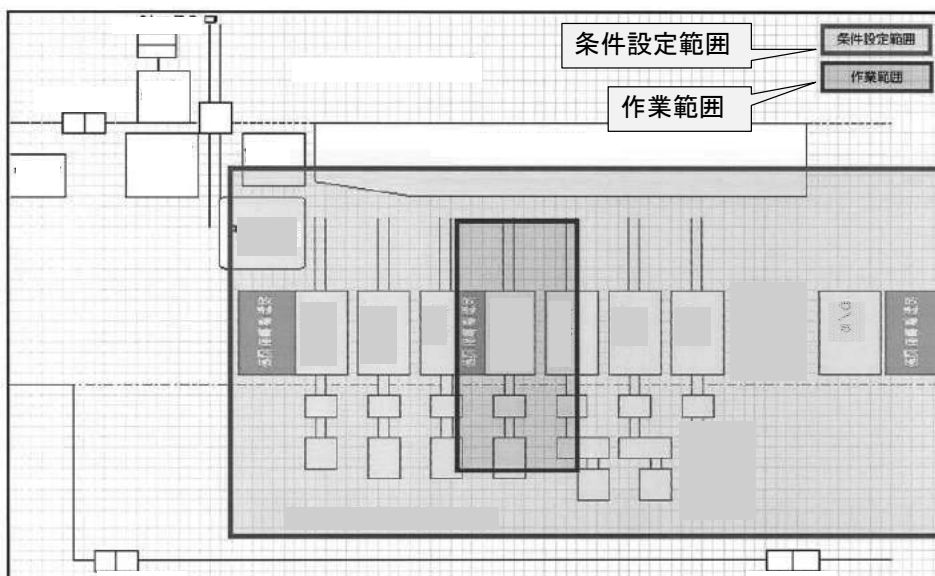
修理作業時 立ち入り禁止区域 & 立ち入り可能区域



資料 12 立入禁止区域、作業範囲図示例 - ①

○○設備 条件設定範囲、作業範囲

○年○月○日 施工者：○○会社 工事名：○○補修工事



資料 12 立入禁止区域、作業範囲図示例 - ②

「一の場所」で多くの作業者が作業する場合、元方事業者の保全 / 整備担当者が関係請負人へ条件設定範囲、設備稼働範囲、危険物、有害物等の情報を伝えるために作成している図の例を示している。②は、単位作業毎に作成した例を示している。

本文記載ページ  
19, 42



資料 13 非常作業実施中表示例

計画的な非常作業はもとより、定常作業の途中から非常作業に移る場合など、作業者に今から非常作業を行うことを意識づけるために現場に掲げる表示旗の例を示している。パトロール者にも意識させることができる。

本文記載ページ  
31, 39

# 作業基準

(1 / )

目 録表 (様式例)

職場名 職務	単位作業名		人数	基準 番号	制定 改定	改訂 回	工場長	統括	作業長				改訂 部位→*								
	A	B							C	D											
目的 適用範囲	改訂理由		新規作成																		
	特認作業	特認理由	カ	サ	タ	チ	ツ	テ	ト	タ	チ	ツ	テ								
作業形態別 基準書分類	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類
	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類	
大項目 項目 評価	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類
	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類	
作業形態別 基準書分類	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類
	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類	
注意度 No.	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類
	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	作業分類	
異常時の 処置	頻度		程度	高所	ガス	重機	案内	刃玉	高熔融	電気	重量物	水質	大気	火災							
	作業手順		誰が	工具	保護具	作業、安全、衛生上の要点															
特記事項 予想される 事故	確認事項																				
	必要な知識・資格等																				
災害事例	資格 免許																				

資料 14 作業基準書例①

各作業毎に作業手順、道工具、保護具、安全ポイント、リスクアセスメント評価、その他作業に必要な情報を網羅し、現場の写真、図面等を取り入れてわかりやすく作成するための基準書の例を示している（写真や図面を記載する付図は省略）。

本文記載ページ  
11, 14, 28, 36, 47

# 作業基準リスク評価表

作業名

--

- ポイントの評価例
- ・手抜きしやすいポイントである
  - ・守りにくいルール(ポイント)である
- 作業環境の評価例
- ・段差がある
  - ・騒音で聞こえない
  - ・照明が不足(暗い)
  - ・無理な体勢

- 設備・道工具の評価例
- ・二重切り出来ない設備である
  - ・改善をしたが、完全ではない(抜けがある)
  - ・使いにくい道具である
- (例) 作業環境の評価
- (例) 設備・道工具の評価

<例>

ランクA	評価点 ≥ 60	リスク低減対策必要
ランクB	評価点 ≥ 12	リスク低減努力必要
ランクC	評価点 < 12	処置不要

\* リスクがあると考えられる作業ステップのみ記入

\* 水色セルは入力不要(計算される)

リスクが発生する作業ステップ	予想されるリスクの内容	予想されるポイント	リスクを低減させるポイント	予想される災害の種類	重大性				リスク評価			発生の可能性		作業頻度		可能性		評価点		
					危険の程度	被災人数	リスクを低減させるポイントは守りやすいか	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	重大性	可能性	評価点	ランク			
																		(a)	(b)	(c)

資料 14 作業基準書例②

一人作業の安全チェックリスト

	No.	本人	チェック欄	監督者・同僚	チェック欄
作業前	(1)	ミーティング、KYを行ったか(監督者、同僚と)		本人とのミーティングを行ったか	
		A. 作業方法		A. 作業内容の指示(前番からの申し送りを含む)	
		B. 危険箇所、作業に対する留意事項		B. 危険箇所、作業に対する指示	
		C. 作業中の定時連絡の方法		C. 環境条件による作業制限	
		D. 報告すべき異常内容		D. 健康状態の確認	
	(2)	A. 服装はよいか		A. 服装、保護具、禁止札、ガス検知器、酸素濃度測定機器等の始業点検実施の確認	
		B. 保護具はよいか		B. 禁止札、無線等の携帯確認	
		C. 道工具の整備はよいか		—	
		D. 個人禁止札は持ったか		—	
		E. 無線、懐中電灯を持ったか		—	
	(3)	関係先への必要な連絡を行ったか		—	
	(4)	行き先表示に行き先、戻り時間を記入したか		行き先表示の確認を行ったか	
作業中	(5)	作業開始の連絡をしたか		—	
	(6)	ルート周囲の安全確認を行っているか(立ち入り禁止場所、床面、稼動部分、ガス検知・警報、酸素濃度等)		—	
	(7)	必要な保護具を着装しているか		—	
	(8)	予定のコースを守っているか		—	
	(9)	各連絡ポイントで定時連絡をしたか		定時連絡を受けるとともに、必要により適切な指示を行ったか 予定時間を経過しても連絡がないときの緊急処置の指示を行ったか	
	(10)	指示された以外の作業発生時は連絡をしたか		連絡を受けたとき、適切な指示を行ったか	
	(11)	異常時には、監督者へ連絡したか		異常時の連絡を受けたとき、適切な指示を行い、応急処置のできる体制はできているか	
	(12)	監督者に終了報告をしたか		作業終了報告の確認をしたか(作業状況、安全)	
	(13)	行き先表示を消したか		行き先表示を消したことを確認したか	
	(14)	道工具を確認したか		—	

資料 15 一人作業の安全チェックリスト例

一人作業における安全確保のため、作業開始前、作業中に作業者、監督者それぞれが確認すべき事項をまとめたチェックリストの例を示している。

本文記載ページ  
48

## 〇〇室 〇〇職場特認作業一覧表

室長	統括	作業長	リーダー	リーダー

**【特認定義】 ☆所の基準に準ずる**

- \* 下記に該当する作業に於いて室長が特別に許可した作業  
 ① 回転又は、稼働させなければその作業が成り立たない  
 ② 囲い・覆いが取付けられない  
 ③ 囲いの中に入る、覆いを取外す等しなければその作業が成り立たない  
 ④ 治具などによる接觸作業又は、接触しなければその作業が成り立たない

分類番号	連番	単位作業	特認事項	予備される災害	特認作業許可条件	反作業の結果			
						実施日	IV	III	II
	1	〇〇ブローリー軸受動点検作業	ライン内立入、条件設定	ブローリーに巻き込まれる	回転体との間に脱着式手箱及びシート養生	2008/7/7	20		
	2	〇〇設備動点検作業	ライン内立入、条件設定	可動体と壁にはさまれる	動点検指示書により、配置、連絡方法を定める	2008/7/7	15		
	3	〇〇ベルト配行調整作業	ライン内立入、条件設定	ベルトテンションローラーに巻き込まれる	動点検指示書により、配置、連絡方法を定める	2008/7/7	20		
	4	〇〇減速機簡易診断作業	ライン内立入、条件設定	回転軸に巻き込まれる	回転体との間に脱着式手箱及びシート養生	2008/7/7			8
	5	〇〇設備振動測定作業	ライン内立入、条件設定	回転軸に巻き込まれる	センサー設置時は、設備を停止	2008/7/7		15	
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
							40	30	8

**◎特認作業の考え方について**

特認作業は、常に戻直し「無くす」方向で改善して行く必要がある。

- ① 特認作業の一覧表作成
- ② 特認作業の抑制の実施 1回以上/年（室、工場）
- ③ 改善状態の把握と、改善が停滞している作業の改善推進
- ④ 訓練状態の把握と訓練の計画、実施
- ⑤ 上記作業が計画外作業において発生した場合の、連絡を明確にする
- ⑥ IIR・施工会社にも特認作業として認定する

### 資料 16 特認作業管理表例

条件設定をせずにライン内で実施しなければならぬ作業を管理するために各職場で作成している管理表の例を示している。

本文記載ページ  
15, 20

# 動点検作業指示書

発行日 年 月 日  
発行部署

承認ルール  
\*作業長承認(不在時はリーダーが代行)  
\*初めての作業は重工業場承認

①監督者作業の内意(目的)を指示する。

作業名称	自 年 月 日 時 分
作業日時	至 年 月 日 時 分
作業場所	
作業内容 (目的)	

②監督者は基準の有無を確認し、基準書がある場合は作業者に確認日付と名前をサインさせる。

運転部署 工場長	TM	M	L	FAX	保安部署 工場長	TM	M	L
基準書有無 (基準書種)	有	無	無					
				日付・サイン				

③監督者は基準書がない場合は作業方法と危険のポイントを具体的に指示する。(初めての作業の前には必ず現場を確認する。)

どの部分の	礼状取	管理室	備上	条件設定	安全養生		
	条件解除				有り	無し	復旧確認
何を	危険ポイント			リスク評価	リスク評価	I O点	III O点
				a   b   c   d   e   f   g   h   i   j   k   l   m   n   o   p   q   r   s   t   u   v   w   x   y   z	対策	II O点	IV O点
どのように (作業手順を明確に記す)	KY(危険予知)						

④監督者は必ず役割分担(指揮者、合図者、点検者)を指示する。

役割分担	運転者	指揮者	合図者	点検者
氏名				
配置				
合図方法				
確認サイン				

⑤指揮者は本紙および該当する作業基準書を使い、作業者全員で確認しサインしたのち、KYを行い、動点検を開始する。  
【正しいクルーン動点検作業(人員配置と連絡合図)】

⑥作業者は作業実施後、内容と問題点を監督者に報告する。  
\*1施工者となる場合もある

資料 17 動点検作業指示書例

本文記載ページ  
15, 20, 33, 41, 46

条件設定をせずにライン内で設備を動かしながら行わなければならない動点検作業を点検者(施工者の場合もある)、運転者と共同で行うときに点検担当部署が作成する動点検作業指示書の例を示している。

# 緊急・突発作業依頼 兼 仮着工指示書

発行日： 年 月 日

処 理	○印を付ける	該当内容記入	現場説明者 氏名	連責者氏名	元請工程 作業長	作業長	リーダー	担当者
	1.緊突(機動)							
	2.緊突(機動以外)	請求票発行 月 日						
	3.追加	注文NO:						
4.減額	注文NO:							

1. 工事名称： \_\_\_\_\_
2. 施工日： \_\_\_\_\_ 着完工時間： \_\_\_\_\_ 時 ~ \_\_\_\_\_ 時
3. 工場名： \_\_\_\_\_ [工場・系列・設備コード]
4. 設備名： \_\_\_\_\_
5. 施工者・職種・人工 \_\_\_\_\_

施工者	職種	工事請求票人工
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

保全連絡者： \_\_\_\_\_  
 電話： \_\_\_\_\_  
 待合わせ場所： \_\_\_\_\_

**【安全注意事項の現説での追加説明事項も追記する】**

作業内容	作業手順	考えられる危険	リスク低減対策	リスク評価	残存リスク

安全注意事項（設備特有の注意事項を含む） \_\_\_\_\_ 条件設定基準書N○： \_\_\_\_\_

必要工器具&保護具 \_\_\_\_\_ ガス \_\_\_\_\_ 台, \_\_\_\_\_ 台, \_\_\_\_\_ ロック( \_\_\_\_\_ Ton) \_\_\_\_\_ 台) \_\_\_\_\_ 条件設定（札掛け場所及び枚数） \_\_\_\_\_

**特殊作業注意事項（指定項目を実施する事）**

1. リンク・特殊機構有り	固定養生を確実に実施する事。
2. 火気使用禁止区域内作業	(1 許可 2 連絡 3 火気飛散防止養生 4 可燃物除去 5 散水ホース 6 見張人)
工事区分	1 重要工事 2 防災自主管理基準適用A~C(管理N○) ) 3 防災自主管理基準適用D(管理N○) )
3. クレーン近接・搭乗作業	(1 許可 2 見張人 3 ストップ設置 4 標識 5 下部立入禁止)
4. 高所開口部作業の墜落防止 〃 の落下物養生	(1 安全帯使用 2 足場設置 3 手摺設置 4 開口部養生 5 立入禁止措置・標示) (1 標識 2 通行止)
5. ガス発生場所・酸欠場所作業 及び保護具	(1 連絡 2 許可 3 検知 4 着工指示後作業の事 5 モニター常時携帯 6 作業主任者選任 7 監視人配置 8 立入禁止措置・標示) (1 換気装置 2 送気マスク 3 ライフゼム)
6. 薬液作業	薬液の種類 ( ) 保護具 ( ) (1 作業主任者選任, 2 換気装置の準備・使用, 3 PH値測定【PH7~8確認】)
7. 重量物・長尺物玉掛け作業	玉掛け重量 ( _____ Ton) 長尺物 ( _____ m)
8. 上下作業・混在作業	(1 時間帯調整 2 落下防止養生) 施工責任者同士で現場で打合せ後着工
9. 高熱作業	(1 高熱物の排除 2 保護具の着装 3 熱中症対策)
10. 水蒸気爆発	(1 高熱物排除 2 水分の排除 3 高熱物の漏れ確認)
11. レーザー・放射線区域内作業	(1 立入許可 2 被曝量測定) 保護具 ( _____)

**共通注意事項**

1. 個別注意事項は保全連絡責任者より現説を受け、内容確認後着工する事
2. 条件設定は確実に実施する事
3. 上記の危険性及び有害性情報を元にリスク評価を行い、残存リスク対策を作業指示書に反映する事

	役割分担（施工者記入）
	連責者

資料 18 緊急突発作業依頼書兼指示書例

緊急突発発生時においても計画的な非常作業と同様に、確実な情報を書面で伝える必要があるため、元方事業者が関係請負人に突発的な作業を依頼するときに使用する指示書の例を示している。

本文記載ページ  
29, 37



### 補修工事 安全衛生仕様書

緊急 予定 定(炉)修	履 歴	設定年月日	設定者	分類No.	作業・工事 監督部署				
		改訂年月日	改訂者	分類No.					
(作業・工事管理No.)		(設備名)	製修No.	作業・工事No.	作業・施工年月日	停止時間	連絡者(TEL)		
(件名)				作業・施工理由			作業・工事周期		
ST-No.	作業・施工者	人員	標準工数(MH)	条件設定書No.	リストNo.	作業・施工日立会者	要求書No.		
略 図		図面No.	作業・施工条件(要求元実施事項)						
作業・施工範囲(作業・施工者が実施する安全処置等を含む)									
工事内容									
作業・工物品質									
作業・施工手順・工程に対する条件				試運転項目					
開口部・足場養生宣誓(要・不要)									
所要予備品・材料		(数量)	資材管理コード	貸与治工具・支給保護具等					
		( )	( )						
		( )	( )						
		( )	( )						
安 全	指示 項目	不安定、足場、高所、落下、熱、溶銲(鋼)注意、有害設備、火気制限区域A、火気制限区域B、火気制限区域C 爆発、水使用禁止、ガス検知、酸欠、換気、エアラインマスク使用、防塵マスク使用、保護メガネ使用、混在作業、感電 稼働設備、貨車注意、立会要、条件設定( )、火気使用作業・工事許可証要							
	危険 有害 情報	・ガス	・有機溶剤	禁則 事項					
		・放射線	・高電圧						
		・薬液	・高温	特記					
	・可燃物								
リスク 評価	考えられる危険		危険低減策				リスク評価 a b a*b	残存する危険	
【現地説明の記録】 現地説明日時 年 月 日 説明した人の氏名(サイン)									
<input type="checkbox"/> 稼働範囲と停止範囲 <input type="checkbox"/> 活ガス範囲、都市ガス範囲 <input type="checkbox"/> 条件設定内容					説明を受けた人の氏名(サイン)				
<input type="checkbox"/> 隣接する危険場所、立入禁止場所 <input type="checkbox"/> SDS交付要否									

資料 19 補修工事仕様書例

元方事業者から関係係負人へ補修工事等を発注する場合に安全衛生対策を確実に実施するために必要な情報を盛り込んで作成した仕様書の例を示している。

本文記載ページ  
17, 36, 42

工事ランク		施工要領書									
A、B、C		【工事仕様書番号】									
設備名		長	保真	作成	長	保真	作成	数量	現場および修理目的		
件名		〈作業ポイント〉(略図・特記事項)									
注文No.	工事No.	期				数量				安全・環境・防災ポイント	
計画No.	担当	期				数量					
工事	前回施工	数量				数量					
計画係	監視係	数量				数量					
仕様内容		仕様内容									
品名	仕様	数量	単位	準備	支給	場所	日時	担当	チャック	備考	
予備品	資材										
電力											
通											
止											
札											

資料 20 施工要領書例

元方事業者の操業管理部門から関係請負人へ補修工事を依頼するときに、設備管理部門が依頼する補修工事と同様の情報を関係請負人へ伝える必要があるため、操業管理部門が作成している施工要領書の例を示している。

本文記載ページ  
17

### 安全衛生対策書 兼 作業予定表

月 日 ( )		□ 別紙安全対策書 有		救急車指定場所No. -	
ガレージ					
入場	退場	監督部署	元請	協力会社	作業実施
		確認者	工事安全衛生責任者	工事安全衛生担当者	指揮者
				二次請	三次請 (施工者)
<b>6項目該当作業</b>		(危)電 気	(危)火 気	(危)掘 削	
(該当作業を○でくくる)		(危)高 所	(危)重 量 物	(危)酸欠・CO	
仕様書 No		予定出来高	%		
作業件名		定修作業 1.有 2.無	→ 玉掛A		
作業内容			溶接B		
			ガスC		
作業時間	時 分 ~ 至 時 分		足場D		
作業場所			特化E		
施工社		【定修反省会コメント】反省会実績時間 ( 人× 分)	酸欠F		
作業指揮者			有機G		
作業人員名			電工H		
			高圧端末I		
元請記載 作業・施工方法(連絡事項、指示事項)		2次記載 詳細要領と重要ポイント			
遵守事項(及び重要情報)		具体的遵守事項			
【禁則事項】		作業ミス防止			
リスク評価	考えられる危険	危険低減策	リスク評価 a b a* <sup>b</sup>		残存する危険
<p>【変化があれば、再KYで安全確認】【作業内容全体変更の場合は要求元に許可】</p> <p>【遵守事項、安全指示 (○印の項目は必ず守ること)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>1. 電気取扱作業 (感電災害の防止)【電気】</b>                      活線近接作業禁止、充電範囲の確認、条件設定の確認                      札掛けの実施、検電の実施、接地の確認                      電動工具の点検、主電源盤の隙間養生</p> <p><b>2. 火気取扱作業 (火災・爆発の防止)【火気】</b>                      火気使用許可証の確認、使用前点検                      溶接機本体にアース取付、遮光板の設置                      ガス器具(ホース)の漏れ点検、消火器の設置                      可燃物の撤去、火の粉養生、監視人配置                      作業後点検、作業後30分以上継続して残火確認</p> <p><b>3. 掘削作業【掘削】</b>                      刃先誘導者の配置、交通整理員の配置                      開口部等の立入禁止措置及び表示                      斜降設備の設置、土止め部材の材質・取付の点検                      安全通路・作業通路の確保、湧水PH濃度測定</p> <p><b>4. 高所作業【高所】</b>                      (感電災害の防止「1mは1命取る。」)                      安全帯着用、視網設定、安全ロープ、昇降設備                      セーフティロック、開口部養生、作業床の設置                      足場の手摺、脚立・梯子の滑止めと固縛</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>(飛来落下防止)</b>                      作業床上整理、立入禁止の処置、監視人配置                      高所作業中の表示、ガス切断落下防止</p> <p><b>5. 重量物運搬作業【重量物】</b>                      玉掛九ヶ条の遵守 作業資格の確認                      吊具・ワイヤの点検、フックはずれ止め確認                      転倒防止対策、床上の養生</p> <p><b>6. 酸欠・COが入管理区域作業【酸欠・CO】</b>                      (酸欠災害防止、ガス中毒災害防止)                      酸素濃度測定、ガス濃度測定、作業主任者配置                      換気、保護具の着用、2人以上の作業</p> <p><b>7. ライン内作業及び近接作業</b>                      オペレーターへの連絡、条件設定の実施確認                      操作禁止札掛けの実施</p> <p><b>8. 保護具の補装</b>                      防護眼鏡、ゴーグル、防塵マスク、ガスマスク                      耳栓、安全帯、遮光眼鏡、脚絆、静電靴                      絶縁保護具、COモニター、切削防止手袋、手甲</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>9. 計装関連作業</b>                      取出バルブ操作禁止、取出バルブ「閉」の確認                      操作禁止札掛けの実施、残圧有・無の確認</p> <p><b>10. 化学熱傷防止 (製鋼)</b>                      ゴーグル、防塵マスク、タイベック、頭巾、腕カバー                      手甲、その他( )</p> <p><b>11. 化学物質等による災害防止</b>                      MSDSの確認( )</p> <p><b>12. 熱中症防止</b>                      作業前の体調確認、作業環境の確認                      温湿度計、作業可能時間、休憩時間確認                      その他( )</p> <p><b>使用量機 (使用時間 時 分 ~ 時 分)</b>                      2台(1台)・テープリフト                      天井クレーン・57kgクレーン・エリカ車                      油圧ジャッキ・ジャッキアップレーカー                      作業計画書の確認                      その他( )</p> <p>仮設資材・リフト機                      発電機、溶接用発電機、仮設足場材                      その他( )</p> </div> </div>					

太枠内 元請記載

資料 21 安全衛生対策書兼作業予定表例

元請が、関係請負人へ作業を依頼するときに、元方事業者から送付された工事仕様書等の内容を元に、伝達すべき安全衛生に関する事項を網羅して作成する作業指示書の例を示している。

本文記載ページ  
30, 37, 43, 44



配布ルート：発注部署⇒元請業者（押印、原紙保管）⇒発注部署（コピー保管）  
不明点があれば発注部署（担当者）まで連絡願います。

平成 年 月 日

発注部署		
課長・Gr長	係長	担当

**危険箇所情報**

**I 作業範囲及び作業環境情報**

- 設備名称及び運転状態 設備名称： \_\_\_\_\_  
 運転状態： 運転中  停止中  自動運転中  遠隔操作中
- 作業範囲図を配布します。図中の各情報を確認願います。  
 作業範囲  立入禁止区域（AGV走行範囲・受電設備等）  
 通行注意（クレーン・台車・フォークリフトの通行）  
 ◎消火器 ☆消火栓 ー通行経路 …etc

**II 危険物・有害物及び有害物を含む製剤**

- 危険物・有害物及び有害物を含む製剤無し
- 危険物・有害物及び有害物を含む製剤有り  
 危険物 危険物質名： \_\_\_\_\_  
 化学物質（SDSの提示） 化学物質名： \_\_\_\_\_  
 化学物質を含む製剤（SDSの提示） 製剤名： \_\_\_\_\_  
 当該物質の危険性及び有害性： \_\_\_\_\_

【配布したSDSは必ず作業着手までに内容を確認願います。】

**III 必要な安全対策・保護具・測定等**

- |                                 |                                 |                                    |
|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 酸素濃度測定 | <input type="checkbox"/> 開口部養生  | <input type="checkbox"/> 親綱張り      |
| <input type="checkbox"/> 安全ロック  | <input type="checkbox"/> 耐カット手袋 | <input type="checkbox"/> 安全帯       |
| <input type="checkbox"/> 保護めがね  | <input type="checkbox"/> 防炎シート  | <input type="checkbox"/> 梯子の固定     |
| <input type="checkbox"/> マスク    | <input type="checkbox"/> 立て掛け禁止 | <input type="checkbox"/> 配線の通路横断養生 |

【法令に準じた安全保護具を使用した上で、当所ルールに基づいた対策を願います。】

**IV 注意すべき安全・衛生・防火情報**

- |                                |                               |                                    |
|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 粉塵    | <input type="checkbox"/> 自重落下 | <input type="checkbox"/> 熱射        |
| <input type="checkbox"/> 上下作業  | <input type="checkbox"/> 爆発   | <input type="checkbox"/> 高温・低温     |
| <input type="checkbox"/> 床面油分  | <input type="checkbox"/> 火災   | <input type="checkbox"/> 騒音        |
| <input type="checkbox"/> アスベスト | <input type="checkbox"/> 回転体  | <input type="checkbox"/> 熔融金属      |
| <input type="checkbox"/> 残圧    | <input type="checkbox"/> 放射線  | <input type="checkbox"/> その他 _____ |

**V バルブ開閉・電源遮断**

- バルブ開閉及び電源遮断必要なし  
 バルブ開閉及び電源遮断必要あり  
 バルブ開閉  
 電源遮断

【バルブ開閉及び電源遮断箇所には必ず①注文部署（製造および設備）②請負業者の双方の「さわるな札」の札掛けをお願いします。】

**VI 安全遵守事項**

- ・ 入構教育に準じ、ルールを守って作業願います。
- ・ 体調不良の場合にはすみやかに作業を中断し、報告願います。
- ・ 火気使用には別途届出が必要です。
- ・ 全てのタンクの昇降には届出が必要です。

**記入・提出される方へ**

「」の項目に該当する項目にチェックマークを入れ、元請業者へ危険有害情報の伝達を行ってください。

元請業者 受領印

資料 23 危険箇所情報通知例

元方事業者が関係請負人へ危険箇所情報を周知するときに使用する通知書の例を示している。

本文記載ページ  
17, 42

# 「作業内容変更依頼書」

執行者No : \_\_\_\_\_  
 保全連絡者 : \_\_\_\_\_ (TEL \_\_\_\_\_)  
 発行日 : \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1. 工事請求票の工事名称 : \_\_\_\_\_
2. 工事請求票の注文No : \_\_\_\_\_
3. 施工日 : \_\_\_\_\_
4. 工場名 : \_\_\_\_\_
5. 設備名 \_\_\_\_\_
6. 施工者・職種・工数 :  

施工者	職種	工数 (人×Hr)	職種	工数 (人×Hr)	職種	工数 (人×Hr)
<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%;" type="text"/>

工事請求部署					
現場説明者 ※付	連責者※付	元請工程 作業長	作業長	リーガ-	担当者
<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>

### 【安全注意事項の現説での追加説明事項も追記する】

変更前の工事項目・内容	変更後の工事項目・内容			
	工事項目・内容	工数(人×Hr)	保護具	工具
変更後の作業内容と設備固有の安全注意事項				
作業内容	考えられる危険	リスク低減対策	リスク評価	残存リスク
特殊作業注意事項 (指定項目を実施する事)				
1. リンク・特殊機構有り	固定養生を確実に実施する事。			
2. 火気使用禁止区域内作業	(1 許可 2 連絡 3 火気飛散防止養生 4 可燃物除去 5 散水ホース 6 見張人)			
<b>工事区分</b>	<b>1 重要工事 2 防災自主管理基準適用A~C(管理No )</b> <b>3 防災自主管理基準適用D(管理No )</b>			
3. クレーン近接・搭乗作業	(1 許可 2 見張人 3 ストップ設置 4 標識 5 下部立入禁止)			
4. 高所開口部作業の墜落防止	(1 安全帯使用 2 足場設置 3 手摺設置 4 開口部養生 5 立入禁止措置・標示)			
〃 の落下物養生	(1 標識 2 通行止)			
5. ガス発生場所・酸欠場所作業 及び保護具	(1 連絡 2 許可 3 検知 4 着工指示後作業の事 5 モニター常時携帯 6 作業主任者選任 7 監視人配置 8 立入禁止措置・標示) (1 換気装置 2 送気マスク 3 ライフゼム)			
6. 薬液作業	薬液の種類 ( ) 保護具 ( ) (1 作業主任者選任, 2 換気装置の準備・使用, 3 PH値測定【PH7~8 確認】)			
7. 重量物・長尺物玉掛け作業	玉掛け重量 ( Ton) 長尺物 ( m)			
8. 上下作業・混在作業	(1 時間帯調整 2 落下防止養生) 施工責任者同士で現場で打合せ後着工			
9. 高熱作業	(1 高熱物の排除 2 保護具の着装 3 熱中症対策)			
10. 水蒸気爆発	(1 高熱物排除 2 水分の排除 3 高熱物の漏れ確認)			
11. レーザ-・放射線区域内作業	(1 立入許可 2 被曝量測定) 保護具 ( )			
共通注意事項				
1. 個別注意事項は保全連絡責任者より現説を受け、内容確認後着工する事				
2. 条件設定は確実に実施する事 (条件設定札 枚)				
3. 上記の危険性及び有害性情報を元にリスク評価を行い、残存リスク対策を作業指示書に反映する事				
			役割分担 (施工者記入)	
			連責者	

資料 24 作業内容変更依頼書例

作業内容が変更になったときに元方事業者が変更内容に伴う安全衛生上の周知事項を記載し、関係請負人へ提出する依頼書の例を示している。

本文記載ページ  
21, 32, 40, 45, 50

# 非常常作業変化点安全確認シート

〇〇△株式会社

記入日	年	月	日
発注責任者	工事責任者	記入者	
		△	
		△	
		△	

施工会社者名 〇〇工業㈱

工事内容 屋根張替え工事 工事日 2014年9月10日～11日 場所 本社第1・第3工場

変化点 有り・無し ※「無し」の場合、下記は記入不要。

確認日時	2014年9月10日13時30分	作業責任者	〇〇〇	作業者名	△△△・◇◇◇・×××・□□□
変化点内容	1日目の第1工場の屋根材張替え作業が予定より早く終わり、2日目の第3工場の張替え作業を前倒しして実施。 上記に伴い、作業体制変更、重機使用タイミング変更、交通規制日時変更				

No	変化点によって変わる内容(人・作業・設備)	No	考えられる危険(KV)	No	具体的対策
1	屋根材を吊り上げるクレーンが50t(2日目配置予定車両)から30t(1日目配置車両)に変更。	1	第3工場の屋根材の重量は30tクレーンで持ち上げる重量で束められているか？ 第3工場の屋根に材料を無理なく吊り上げることができるか？	1	積荷重量の確認。重量オーバーの時は積荷を適正重量に束ねなおす。 屋根の高さ確認。クレーンの能力を超える場合は作業は中止。 屋根からの転落防止対策を実施。(足場・親綱・転落防止柵取り付け等)
2	作業人員を2名追加	2	前倒し作業する工場の屋根の安全対策は十分か？	2	作業員名簿追加確認
3	交通規制日時変更	3	入構教育は受講済みか？ 必要資格は確認したか？ 交通事故 出荷トレーラー影響	3	所管部署との協議事項を再周知 道路使用許可申請

変化点時 工事責任者 有・無  
連絡有無 発注責任者 有・無

変化点とは  
① 作業内容が変わった時 ② 作業手順が変わった時 ③ 作業メンバーが変わった時  
④ 使用する設備・道具・保護具が変わった時 ⑤ 異常が発生した時 ⑥ 工程が遅れてきた時  
⑦ 作業環境が変化した時(降雨、降雪、強風等) ⑧ 全体スケジュールが変更になった時

経路・単位作業を指揮する者→作業責任者(記入者)→元方作業責任者→作業を統括管理する者

## 資料 25 変化点安全確認シート例

作業内容に変更があった場合に、関係請負人が変更内容と必要な安全衛生対策を記入し、元方事業者に提出する書類の例を示している。

本文記載ページ  
15, 21, 32, 39, 44, 50

表

(携帯版)  
非常作業おける  
『変化点』気付きカード

『変化点』とは

- ① 作業内容が変わった時
- ② 作業手順が変わった時
- ③ 作業メンバーが変わった時
- ④ 使用する設備・道工具・保護具が変わった時
- ⑤ 異常が発生したとき
- ⑥ 工程が遅れてきたとき
- ⑦ 作業環境が変化した時(降雨、降雪、強風等)
- ⑧ 全体スケジュールが変更になった時

1. 場所、範囲

- 「作業を行う場所が違ってませんか」
- 「作業内容が違っていませんか」

2. 作業方法

- 「計画通りの方法で作業をしていますか」
- 「手順が変わっていませんか」

3. 作業者

- 「責任者はいますか」
- 「資格がありますか」
- 「予定以外の人が作業していませんか」

裏

(携帯版)

4. 設備、道工具、保護具  
「間に合わせ道具で行ってませんか」  
「保護具つけてますか」  
「今の作業にあった保護具ですか」
5. 設備異常  
「油漏れ、ガス漏れ等ありませんか」  
「異音、異臭等ありませんか」
6. 作業工程  
「遅れて焦っていませんか」  
「追加でやろうとしていませんか」
7. 作業環境  
「作業ができる天気ですか」  
「気温が高くありませんか」※熱中症予防  
「暗くなっていますか」
8. 全体スケジュール  
「条件解除時間は変わっていませんか」  
「部分的条件解除はありませんか」  
「他部署の情報を確認していますか」

**ご安全に！**

資料 26 変化点気付きカード例

作業者に変化点を気付かせるために「変化点」を問いかけ形式で記載した携帯型カードの例を示している。

本文記載ページ  
15, 21, 32, 40, 45, 51



<b>現 説 確 認 書</b>			
年 月 日			
室名			
班名			
工事場所		担当者 TEL(       )	施工会社
工事名称			請求No
<b>現地説明の記録</b>			現説年月日
			施工者氏名
			説明者氏名
確 認 印			
			元 請
			施工会社

資料 27 現説確認書例

工事前に元方事業者から関係請負人へ現場で工事内容を説明し、説明した内容を確認サインする確認書の例を示している。

本文記載ページ  
42

工事着工 事前打合せ 確認チェックリスト

本チェックリストは工事着工前に開催する事前着工打合せの必要部署を呼び、連絡漏れを防止するために活用する。

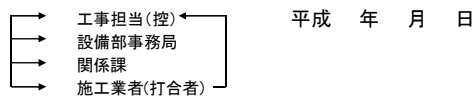
No.	チェック項目	担当課・チーム	連絡可否	備考	No.	作業内容	担当課・チーム	連絡可否	備考
1	該当所の管理担当課、清掃管理担当課	設備技術チーム	◎	必ず出席	30	床面/路面の掘削、復旧がある	関係課		
2	該当設備の設備管理課(運転管理担当課)	制御技術チーム	◎	必ず出席	31	重量物の運搬経路に排水ヒット、配水管がある	関係課		
3	該当設備の設備保全担当チーム	制御技術チーム		関係ある	32	埋設配管付近の掘削作業	関係課		
4	運	"		保安担当	33	重量物の運搬経路に埋設配管がある	関係課		
5	転	"		は必ず	34	動力設備及び配管と近傍する	エネルギー技術チーム		
6	保	"		出席	35	用水、ガス、燃料油、空気他動力本管の	エネルギー技術チーム		
7	全	"			36	ハルツ閉止を必要とする	エネルギー技術チーム		
8	"	"			37	飲料水配管工事がある	エネルギー技術チーム		
9	"	"			38	高炉、転炉がスのガス管理区域と干渉又は近傍する	エネルギー技術チーム		
10	工事場所及び付近に一般通行人の経路がある	保安			39	(熱風炉関係の場合)	製鉄課		
11	"	保安			40	(製鋼設備関係の場合)	製鋼課		
12	一般	人事チーム			41	多量のがス放散が発生する	安全衛生チーム		
13	交通	安全衛生チーム			42	高架架け近傍作業(レッカー作業は特に注意)	制御技術チーム		
14	"	総務チーム			43	架空電線近傍作業( )	制御技術チーム		
15	従業員駐車場、納品業者他の駐車場に近傍する	駐車管理者			44	埋設ケーブル付近の掘削作業	制御技術チーム		
16	自転車置場近傍作業、又は自転車の通行に障害	駐輪管理者			45	配線ヒック近傍作業	制御技術チーム		
17	道路の遮断、又は片側通行規制が発生する	保安			46	計算機室、電気室等に振動等で影響を 与える恐れがある	制御技術チーム		
18	高所作業で下部の人や設備に影響を与える	安全衛生チーム			47	停電作業がある	制御技術チーム		
19	工事場所及び付近に消火設備がある	保安			48	変電設備、変電所に近傍作業	エネルギー技術チーム		
20	火災	保安			49	放射線×線管理区域と干渉または近傍する	制御技術チーム		
21	多量の火気の使用、ガスの燃焼放散がある	安全衛生チーム			50	工事に用いる無線装置を利用する	制御技術チーム		
22	危険物施設の新設・改造または撤去	環境リサイクルチーム			51	コイルヤード内またはコイル置場近傍作業	物流会社、制御 ヤード管理会社、制御		
23	環境対策設備の新設・改造または撤去	環境リサイクルチーム			52	スラブヤード内またはスラブ置場近傍作業	鉄道管理会社		
24	多量の廃棄物が発生する	環境リサイクルチーム			53	鉄道近傍作業	原料課		
25	排水、汚水等が発生する	環境リサイクルチーム			54	コハヤード近傍作業	製鉄課		
26	多量の粉塵、煙が発生する	環境リサイクルチーム			55	"	クレーン担当		
27	着しい騒音の発生する作業がある(所外対応)	安全衛生チーム			56	クレーン内の近傍作業または走行制限等がある	クレーン担当		
28	排水ホール等と干渉する	環境リサイクルチーム				ヤード内でのレッカー作業			
29	ゴミの集積場に近傍する	環境リサイクルチーム							

資料 28 工事着工前確認チェックリスト例

工事を開始する前に実施する調整会議で確認、調整する事項をまとめ、関係者全員に漏れなく周知するためのチェック用紙の例を示している。

III 資料（様式例）

工事担当→施工業者→工事担当→SB(総長)→安防作→チームリーダー



### 工事着工前打合議事録

安防作業長	チームリーダー	クルーリーダー	SL/総長	設備部	チーム

工事件名						
打合日時	平成 年 月 日	時 分 ~ 時 分		場所:		
出席者	会社				施工者	
作業内容	場所	略図、他				
	期間					
	要員					
	起重機					
配管又はケーブル撤去作業	有・無	両者(会社担当者・作業担当者)で撤去配管又はケーブルの配管末端部にマーキングのこと				
安全ポイント		具体策(～を～して～する)				
月間安全重点活動				施工者確認	打合者	作業責任者
救急車到着位置						
作業連絡書配布先						
工事担当者連絡先						
TEL		PHS(携帯)				

- 注) ①当議事録は工事担当者・施工者、両者同席のもとで作成し、確認すること。  
 ②工事着工前、工事担当者は施工者に安全対策及び工事管理の徹底を図ること。  
 ③当議事録は原則として、工事着工届及び作業実施届に添付すること。  
 ④工事着工前打合わせ確認チェックリストで項目のチェックをしたか。          した          してない  
 ⑤安全対策及び工事管理に関しては、施工者の責任施工とする。  
 ⑥本工事は、安全帯非装着作業があるか確認をしたか。      した（装着、非装着、一部工程非装着）  
     非装着の理由: \_\_\_\_\_  
     非装着の工程: \_\_\_\_\_

資料 29 工事着工前打合せ議事録例

工事前に開催する連絡調整会議の議事録用紙の例を示している。

本文記載ページ  
43

○年○月○日 ○○ライン定期修理 工場・保全/整備・施工者の問題点打合せ議事録

打合せ日: \_\_\_\_\_

出席者: \_\_\_\_\_

No.	提案部署	問題点	検討結果	担当
1	工場	工程調整会議の時間を少しずらさないか	各部署問題ないため、30分遅らせ、15時30分とする	機械
2	機械	施工場所の清掃を確実にお願いします	前日までに清掃業者を入れて実施します	工場
3	機械	制御の○○工事が機械の○○工事の単独試運転時間に影響しますので、進捗確認をよろしくお願いします	了解しました 時間内に終わるようにします	制御
4	制御	電気室の裏で○○工事をしていますので、関係者以外は、近寄らないでください	制御側で立入禁止表示と範囲の区画をお願いします 制御関係者以外は近づかないよう全員に周知する	制御 全員
5	制御	○○工事で工場の○○運転室の電源が一時落ちます その間工場作業に問題ありませんか	定休日でその時間であれば問題ありません 使えるようになったら、連絡ください	工場 制御
6	施工者	取り外し部品の運搬にクレーンを使いたいが、工場で運転してもらえますか	了解しました 午前中に時間を連絡してください	工場
7	施工者	○○作業場所の照明が切れているがあるので直してほしい	了解しました 定修までに直します	制御

資料 30 工場・保全 / 整備・施工者問題点打合せ議事録例

連絡調整会議で出された問題点を元方事業者がまとめた議事録の例を示している。

本文記載ページ  
43

Ⅲ 資料（様式例）

危険作業  
臨時火気使用 申告書

様式 第 1

(配布先)

担当グループ長	Gr長・課長	担 当	工事責任者
安全 防火			

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

工 事 期 間	年 月 日 時より	元請け				
	年 月 日 時まで	業 者				
場 所			立入許可申請 要 ・ 不要			
作業内容 (略 図)	件 名 : _____					
安全 対策 防火						
作業指揮者		工事責任者				
作 業 員						
工事施工上の 留意項目 (チェックリスト)	連絡調整員の選任		危険作業・臨時火気使用申請書		安全衛生、防火対策実施計画	
	危険性・有害性情報提供		施工要領書		作業員名簿	
	安全衛生管理組織表		工事工程表		資格取得、資格証	
	安全・防火対策等の情報提供		現場管理組織表		危険性・有害性情報交付	
			安全衛生管理組織表		作業主任者の選任	
着工前 安全打合せ	実施日 平成 年 月 日 出席者 注 文 者 (元方事業者) 請 負 人 (関 係 請 負 人)					

\* 必要箇所を○で囲んで下さい。

- |      |         |       |       |        |          |
|------|---------|-------|-------|--------|----------|
| 工事場所 | ①一般取扱所  | 火気の使用 | ①使用なし | 届出の必要性 | ①届出の必要なし |
|      | ②危険物貯蔵所 |       | ②使用あり |        | ②資料提出届   |
|      | ③上記以外   |       |       |        | ③変更許可申請  |
|      |         |       |       | 届出状況   | 届出済み 未届け |

以下、工事時に確認し記載する

出来栄の 評価	確認日（日付及び期間）：
	確認者：＜部署＞ <氏名>
	(1) 作業の出来栄 (2) 安全衛生・防火対策の遵守状況

資料 31 危険作業 / 臨時火気使用申告書例

関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類の例を示している。

本文記載ページ  
48

## クレーンランウェイガード付近作業許可申請書

工事主管 GL・係長	クレーン主管係長			平成 年 月 日						
				日付	／		／		／	
				確認	前	後	前	後	前	後
				職長						
				作業連絡 責任者						

申請者所属氏名 \_\_\_\_\_

作業連絡責任者（監視人） \_\_\_\_\_

1. 作業場所 \_\_\_\_\_
2. 期 日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ～ \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分 ～ \_\_\_\_\_時 \_\_\_\_\_分（3日間以内）
3. 作業内容 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
4. 作業員数 \_\_\_\_\_

- ①この申請書は前日迄に工事主管係長の認印をうけクレーン主管係長に提出する。  
この場合、作業範囲が複数のクレーン主管係にまたがる場合は、全クレーン主管係に本申請書を提出し、許可を得る。
- ②クレーン主管係長は、作業内容を確認後、上下2ヵ所に捺印し、許可書(下側用紙)を作業連絡責任者に返却する。
- ③申請書(上側用紙)はクレーン主管係が保管する。職長は作業当日、整備実施項目提示板に本紙を掲示して朝礼等を通じて作業関係者やクレーン運転手へ作業内容の周知徹底を図る。又、作業開始前後には、作業連絡責任者と職長が確認のため相互に捺印する。
- ④作業連絡責任者は許可書を保安係に提出し、所定の腕章及び作業標識の交付を受ける。又、許可書は保安係が保管する。
- ⑤作業終了後は速やかにクレーン主管係に連絡するとともに腕章及び作業標識を保安係に返却する。(標識については毎日の作業終了時に必ず撤去する。)
- ⑥作業場所、作業内容についてはできるだけ詳細に記入すること。(略図等の添付)

### クレーンランウェイガード付近作業許可書

		クレーン主管係長	
1. 標識番号	第 _____ 号		
2. 作業場所	_____		
3. 期 日	_____年 _____月 _____日 ～ _____時 _____分 ～ _____時 _____分（3日間以内）		
4. 作業内容	_____	腕章番号	
5. 作業員数	_____		
6. 会社名	_____		
7. 作業連絡責任者(監視人)	_____		

### 資料 32 クレーンランウェイガード付近作業許可申請書例

関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類の例を示している。

本文記載ページ  
48

平成 年 月 日

### 請負工事着工届

工事担当部署				←	請負業者		
					住所 社名	印	
					着工 平成 年 月 日 ↓ 完工 平成 年 月 日		
工事責任者		就業人員	平均	ピーク時			
安全責任者		火元責任者					
協力会社を使用する場合の会社名及び責任者	協力会社名	協力会社名					
	責任者	責任者					
	協力会社名	協力会社名					
	責任者	責任者					
工使用資機材の搬入計画・置場(配置図添付でも可)							
臨時詰所の有無	有	無	(仮設事務所設置の場合は別途設置願提出のこと)				
臨時詰所の借用	有	無	(借用場所 : )				
入構車両台数・駐車場	厚生棟( 台) 工事現場( 台:場所 )						
請負業者連絡先							
工事担当部署							
担当者名・連絡先							
施工上の注意事項					安全環境グループ		

資料 33 請負工事着工届例

関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類の例を示している。

本文記載ページ  
48

## 仮設事務所設置許可願

工事担当部署				←	請負業者	印
					住所 社名	

工 事 名			
設 置 場 所			
敷 地 面 積	㎡ (東西 m × 南北 m)		
建 家 構 造			
建 家 面 積	建築面積 ㎡		延べ床面積 ㎡
使 用 目 的			
使 用 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
使 用 責 任 者	所属	氏名	
防 火 責 任 者	所属	氏名	
防 火 の 処 置			
防 犯 の 処 置			
3 S の 処 置			
そ の 他 必 要 事 項			

- ①設置場所については、配置図を添付すること。
- ②仮設事務所の平面図・立面図を添付すること。
- ③平面図に火気・電気・消火器・備品等の配置を記入すること。
- ④その他必要事項の欄には、緊急時の連絡先を記入すること。

総務グループ		

資料 34 仮設事務所設置許可願例

関係請負人が元方事業者へ工事前に提出する書類の例を示している。

本文記載ページ  
48



★異常時、わからない時の確認先1 ⇒ 部署 [ ] 氏名 [ ] TEL [ ]  
 ★異常時、わからない時の確認先2 ⇒ 部署 [ ] 氏名 [ ] TEL [ ]

作業手順KYシート兼報告書		作業日時	場所	作成時承認	
作業名	作業指揮者	年月日 (時分)	場所 (所属)	作業長	リーダー
作業形態 <input type="checkbox"/> 突発・異常 <input type="checkbox"/> 特認 <input type="checkbox"/> 低頻度 <input type="checkbox"/> 標準外 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 防護具なし <input type="checkbox"/> 防護マスク <input type="checkbox"/> 皮手袋 <input type="checkbox"/> その他 (ゴム手袋 ) <input type="checkbox"/> (シールド) <input type="checkbox"/> エアラインマスク <input type="checkbox"/> カウチー手袋 <input type="checkbox"/>	作業指揮者 (作業開始直前まで) 標準No 工具	必要資格	資格名	有資格者名	
<b>作業者手順</b>					
担当 <b>考えられる危険・危害</b>					
採取 ↓ 本 作 業 ↓ 片 付 ↓ 試 験 駆 動 ↓ 再 KY 相 互 KY					
※安全3原則「止める・離れる・足場の確保」の実践					
<b>行動目標</b>					
重要予兆項目		実施後			
危険要素		危険要素		結活	
<input type="checkbox"/> 箇所・開口部 <input type="checkbox"/> クラフ・玉掛 <input type="checkbox"/> ライン内 <input type="checkbox"/> 倒伏体 <input type="checkbox"/> 落電 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 融火 <input type="checkbox"/> 物品落下 <input type="checkbox"/> 網係		<input type="checkbox"/> 放射線 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 高温・高熱 <input type="checkbox"/> 狭所 <input type="checkbox"/> レーザー <input type="checkbox"/> 重量物 <input type="checkbox"/> 落下・飛来物 <input type="checkbox"/> スワリグハック		リーダー 作業長 リーダー	
処置		処置		作業者の反省やコメント	
管理監督者のコメント		工場長			

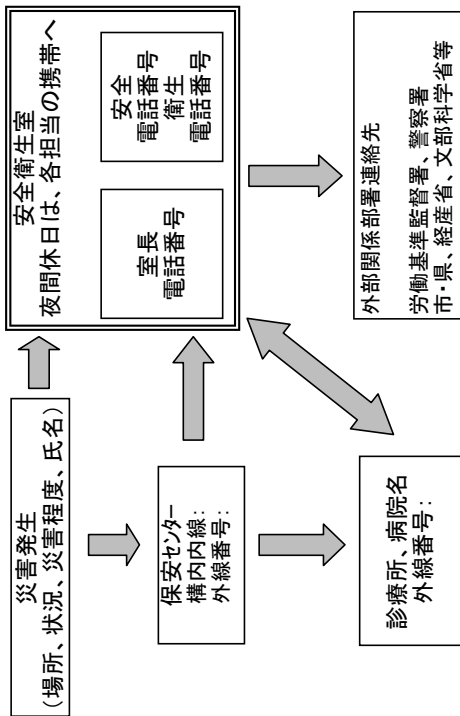
資料 35 危険予知 (KY) シート例

作業者が、現場で行う危険予知 (KY) において、作業の開始から終了までの各手順に潜む危険要素を抽出し、対策を講ずることができるような書式で、管理監督者コメントを書きようになっている KY シートの例を示している。

本文記載ページ  
32, 39, 44

# 緊急時連絡方法

## 1. 災害発生時

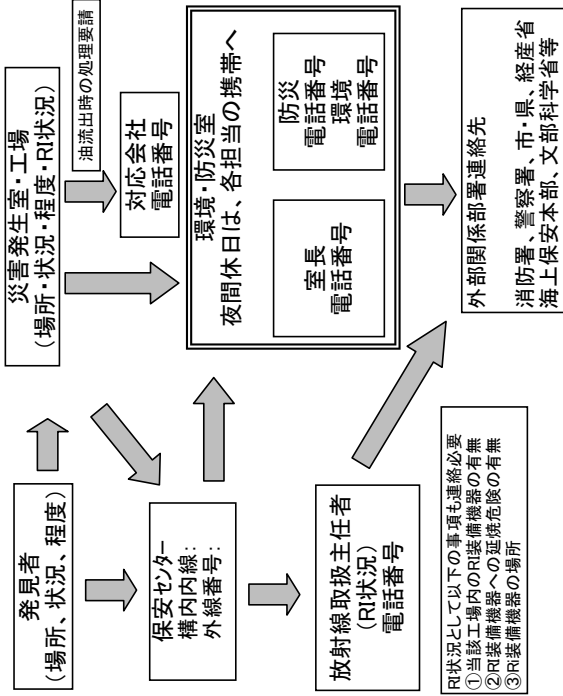


## 災害発生時の処置

発生日署(工場、室・協力会社)は、迅速かつ冷静に対応すること

1. 負傷者対応
  - (1) 救急車の出動要請し、負傷者への応急手当を実施する。  
併せて安全衛生室へ報告する。
  - (2) 救急車にて送院する際は、必ず管理者又は監督者を付き添いとして同乗させ、病院との連絡に当たる。
2. 調査対応
  - (1) 災害現場は、発生時のまま保存する。
  - (2) 現場には、状況を正確に説明出来る者を残し、調査に協力させる。

## 2. 火災・爆発・油流出時



RI状況として以下の事項も連絡必要  
 ①当該工場内のRI装備機器の有無  
 ②RI装備機器への延焼危険の有無  
 ③RI装備機器の場所

## 主要連絡先電話番号

所属	氏名	電話	所属	氏名	電話

外部関係部署連絡先  
 消防署、警察署、市・県、経産省  
 海上保安本部、文部科学省等

資料 36 緊急連絡ルート例

緊急事態が発生したときに、迷うことなく迅速に連絡が行えるよう作成した、事業場内共通の緊急連絡ルートの例を示している。